

米国学術研究会議、科学教育の新国家標準策定に向けた枠組みを発表（7月19日）

米国学術研究会議(National Research Council:NRC)は19日、幼稚園から高校3年生(K-12)までの科学教育における新たな国家標準を策定するための枠組みを示した報告書「K-12 科学教育のための枠組み：実践、分野横断型概念、コアアイデア (A Framework for K-12 Science Education: Practices, Crosscutting Concepts, and Core Ideas)」を発表した。同報告書は、NRC が召集した専門委員らによって取りまとめられたもので、科学教育における新たな国家標準を策定するための枠組みが示されている。同報告書には、最優先事項として、科学への理解を深めることと、学習プロセスの一環で科学的探求を培い、工学的な技術を常に実践できるようにすることに重点を置くこととし、主要な科学的概念への理解を深めるために教授法に一貫性を持たせることが目標のひとつとして掲げられている。こうして枠組みが策定されたことを受けて、教育関連非営利団体のアチーブ (Achieve、ワシントン DC) は、今後、州および外部の専門家と共同で、同枠組みを基に初等・中等教育向けの「次世代」科学教育標準の策定に取り組み、2012年秋までに新標準の発表を行う予定としている。

なお、本報告書は、

[http://www.nap.edu/catalog.php?record\\_id=13165](http://www.nap.edu/catalog.php?record_id=13165) からダウンロード可能 (有料)。

Education Week, *New Science Framework Paves Way for Standards*

<http://www.edweek.org/ew/articles/2011/07/19/37science.h30.html?tkn=RULFUGMI%2F4vMDrE0OgKQxiGHurVpYXOJGlnY&cmp=clp-edweek>